

平成19年度 蓮田市商工振興審議会会議録

召集期日	平成20年 3月27日(木)		
開会場所	蓮田市図書館2階視聴覚ホール		
開催日時	開会	平成20年 3月27日	午後 2時00分
	閉会	平成20年 3月27日	午後 4時10分
出席委員 状況	関根昇司 会長 吉田茂副会長 斉藤隆宗 委員 湯谷百合子 委員	亀井町子 委員 増谷柿沼 委員 井澤本沼 委員 町敬鷹秀 委員 子三之男 委員	(事務局) 中野市 部長 石川部 次長 関根田 主幹 横谷部 係長 前野 主 任
傍聴者	0名		
議題	「身近で買い物、商店街再生のポイント」		
会議の 進行 状況	<p>1. 開会 事務局 配布資料の確認</p> <ul style="list-style-type: none"> ・資料1 市内商店街団体一覧 ・資料2 市内商業団体一覧、市内大規模小売店舗一覧 ・参考資料 一店一得情報これぞはすだVol.3【広告チラシ】 (蓮田市商工会商業部会) ・参考資料 蓮田市商工会推薦特産品おすすめの品々【リ-フルト】 (蓮田市商工会) ・参考資料 はなみずき商品券【見本】 (蓮田市商業協同組合) ・参考資料 はすだガイドマップ (蓮田市役所) <p>2. 会長あいさつ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・景気について 少しずつ逆戻りした感じする。地価公示について、首都圏の都心近くでは路線価が上がってきた。蓮田は少し上がってきた。蓮田市の活力に対する各市町村のバロメーターが計れる。 ・確定申告の件について 3月17日に確定申告の締め切りがあり、蓮田市商工会としてもそのお手伝いをした。 ・市内商店の利用について 蓮田市内の商店を利用して頂き各商店が発展し、商店が発展すれば 		

<p>会 議 の 進 行 状 況</p>	<p>市の税金も増える。市の職員の方も蓮田市で所得をあげているのだから市内商店を利用して頂きたい。</p> <p>3. ビデオ視聴（約40分）</p> <p>4. 議題「身近で買い物、商店街再生のポイント」について</p> <p>3つの事例が出た。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 大阪府堺市では買い物バスの運行 ・ 茨城県ひたちなか市ではスーパーのボランティア運営 ・ 青森県青森市では買い物、住む所の地域の一体化 <p>現状認識が必要。青森市、富山市がどんなことをやっているか見に行った。富山、青森は拠点都市で県庁があり、購買力がある。蓮田の場合は大宮があり、そのバックボーンに更に東京がある。スーパーがどんどん出来ているため、マーケットを分断され深刻な状態になっているはず。122号線が拡幅され圏央道が出来ると、工業をやっている方は極めていい立地。商業は完全にストロー化して、大宮や東京に吸い取られていくような状態がもっと続くと思う。</p> <p>商店会、商工会、NPO等専門の団体の会員組織を強化して専従の人を置き、テナントの融資等を出来る組織を作ったらどうか。商工会、NPOの財務体質の強化が必要。</p> <p>魅力がなければ商店街ではない。自分の欲しい物が欲しい時にない商店街には人が来ない。魅力ある商店をどうしたら呼べるか。よく知られている名店でなくてもよい。</p> <p>防災・防犯・高齢者のフォロー等の繋がりが必要。はなみずき商品券があるが、高齢者の方が自分の代わりに買い物をして欲しいといった時にこういうものを使えないか。こういうものを地域通貨化することにより、防犯や高齢者の介護問題解決や、地元商店で買い物した事のお客様へのロイヤリティーになるのではないか。はなみずき商品券が極めて有効なツールになる。</p> <p>財源を今までのようにばら撒いているのはやめて、出来るだけツール作りや専従の人間に財源を集中するやり方をすれば、ある程度先が見えてくると思う。</p> <p>蓮田市の商業振興条例は策定済みか。所沢市では商業振興条例をホームページで出している。商業振興条例をどういうコンセプトで策定していこうかというバックがなければいけない。</p> <p>商業の停滞については経営革新という国・県・市・商工会が地域市民的に事業所、商店の新業態・新事業を加え、新たに作り替えていかないと望みがない状態になってしまう。商工会は、経営革新という具体的な支援策を持ってやるような指導が必要。</p>
--	---

<p style="text-align: center;">会 議 の 進 行 状 況</p>	<p>夢チャレンジ事業というものが国・県であり、このようなチャレンジ事業でIT化、NPO法人等いろいろな形で、市内中心部の商店・店舗に対して具体的に詰めていく。</p> <p>商店会の方は、具体的にやる気のある商店主・住民等が出資して、株式会社組織にしながら、空き店舗の経営、駐車場事業、保険代理店、商業協同組合事業の吸収等をすすめ、蓮田市内全体をその活動範囲として良いと思う。</p> <p>農業の後継者不足が気になる。農家全体では減っているが、専業農家が増えている。兼業農家が減って全体の農家が減っているからでしょうが、専業農家が2桁の数字で増えているのは、兼業の方が定年になった等がある。そこに販売・流通という商業的部分と農業的な生産者の部分を結び付け、農産物の生産・流通化に努めていける部分があるのではないか。それが空き店舗や雇用対策に活用できる。</p> <p>住民として考えているのは、安全・安心・多くの品揃え・低価格、これらの上に安心という屋根がある。商店会・商店が基本理念・コンセプトを持ち、全面的に支援するという必要性を感じている。</p> <p>高齢化に対応したまちづくりがキーワードになると思う。蓮田市についても同じような現状、地域性等、同じように年をとっていく地域がいたるところにあるという感じ。問題点があるところに向けて団結等の手立てが出てくるが、問題点の掌握がぼやけているので、何を話してよいか迷うところ。問題点の掌握が出来れば、それに向けてコミュニケーションが計れる。その中から団結する力が出てくると思う。</p> <p>この問題は今後の商店会・商店のあり方について大変難しい事で、高くて、良くて、たくさん買う場合は大きなスーパーや、いい物は都心に買いに行ってしまう。地場の野菜等、特別に味のいい物で市内の商店に対応した物なら残れるはず。発想の転換が必要。</p> <p>このまちはトップファッションの物を売るようなイメージのまちではないと居直っていいと思う。コンビニエンスストアは小さいところは次々消えていく。最寄りの手軽で小さい店が成立するような商売の店から埋めていかないと厳しいと思う。</p> <p>空き店舗対策はいろいろやられてどうなのか。</p> <p>蓮田の場合、商工会で一昨年、空き店舗事業を行ったがビルが奥まった場所だったので、あまりぱっとしなかった経緯がある。</p> <p>蓮田はいい場所がない。</p> <p>蓮田の場合、商店街らしい商店街がなくなっている。</p> <p>東京で稼いで、いい物は大宮・東京で買うという意識が変わらない。</p>
--	---

<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">会議の進捗状況</p>	<p>蓮田のために何を貢献するかという意識が低い。 自分達が住んでいるまちが豊かにならなかつたら、自分たちの老後が大変なんだという基本的な事。 このまちをどうしたいか現状分析をして、魅力・場所をPRする。 若い人に蓮田をどうしていきたいかという意識がない。 消費者側が困っていない。</p> <p>商店主も消費者も未だに困っていない。まだ大丈夫という感じ。</p> <p>目先だけどうにかなればいいという感じ。誰かがまちづくりの拠点にならなければ。</p> <p>活性化には商店会の更なる組織化。 市民支持が得られる品揃え・営業方法・時間、そういう事が消費者の希望。西口再開発を待つということもある。</p> <p>最近インターネットで、特に時間が無い子育て世代に買い物が多い。そのあたりの商工会の対応はどうか。</p> <p>商工会自体でホームページを持って、リンクを貼り付ける位。</p> <p>市役所商工課や商工会に指導されて後を付いていく商店ではどうにもならない。株式会社やNPO等を立ち上げて、財政的な補助は商工会・商工課に願います。その中でディスカッションして、はなみずき商品券で介護を受けられるような話になると社会福祉協議会と一緒に繋がってやろうという夢が膨らむ。 現状分析すれば失敗した事についてもヒントが出てくる。</p> <p>はなみずき商品券については運営費は赤字。</p> <p>そういう意味で財政的なベースをどこから稼ぎ出すかという議論も必要。</p> <p>自主財源を創造しなければならない。 蓮田は商工業のうち、工業はそれなりに発展している。 農政課と商工課のコミュニケーションがない。</p> <p>一貫性が無い。消費者側としたら地産地消を何年もお願いしている。</p> <p>停滞しているとはいいいながらも、数字を伸ばしているお店も中にはあるのではないかと。商売は絶対に儲からなければいけない。儲かれば仕事はきついけど頑張れるというのが、働く動機になる。</p>
--	--

<p>会 議 の 進 行 状 況</p>	<p>最初からやる気のある人とやる気の無い人を一緒にすると、足の引 っぱり合いになる。 表面的な議論だけで、行動的な深まりが無い。</p> <p>意見交換だけではもったいない。</p> <p>蓮田に商店街らしい商店街がなくなってきている。 なす術も無く縮小・廃退をたどる商店会がある。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 組織力が無い ・ 活力が無い ・ 駐車場が無い <p>市内には商店街が7つあるが、5つ位はそのようなのではないか。 商店会とは言えないものもある。</p> <p>後継者がみんないない。理屈の世界と自分の置かれた立場と乖離し ている。</p> <p>現状が良くないから、後継者が違う事業に行ってしまう事がある。 コンセプトが無い。前向きな事が無い。だから後継者が後を継ごうと しない。</p> <p>19年度の商工振興予算で、経営革新普及事業費が20百万円ある ので、これらの予算は経営革新を推進するための費用に充てる。その 効果も見ていく。ただ漠然と予算は使わない。経営革新的なものが導 入されて、新たな業界・業種に展開出来るようなチャンスがあれば、 それをやるような支援を商工会が受けて、低利の融資を受けられるよ うにする。それが通じないようではだめだ。</p> <p>県の経営革新セミナーや低利の融資の話を持っていくが、現状は利 用する人がいない。</p> <p>そこまで行くと個店の問題になってしまう。</p> <p>最後は不動産事業に行くんでしょう。そこを誰かに貸して自分達は 不動産収入でという事になる。</p> <p>県の方からの提案だと思うが、パパママ応援ショップの協賛とい うのはどうなっているのか。</p> <p>増やした方が良い。</p> <p>蓮田市の場合には、商店や工業を今後どういうふうにしたいかとい うビジョンを持っていない。行政が出来るのはどういうふうにしたい か未来像を作り、実際に行っていくところが商工会・商店会だと思う。</p>
--	---

会議の進行状況	<p>6. 閉会 副会長</p> <ul style="list-style-type: none">・ 商工振興審議会というのは、抽象的で難しい。審議会の性質上、方向性の難しいことだと思う。これにめげず今後も皆様のご意見を賜りまして参考にさせて頂ければと思う。
---------	---